

アート&カルチャーでねりまをもっと楽しく

NERICUL

(公財)練馬区文化振興協会情報誌「ねりかる」

2017 spring 05

特集 練馬区立美術館

「19世紀パリ時間旅行」展開催

アドルフ・マルシアル・ボテモン（ロラン＝ブラン＝ガージュ通り（袋小路））（部分）
1864年 エッチング、紙（「いにしへのパリ」1866年より） 鹿島苑コレクション

失われた街を求めて

練馬区立美術館「19世紀パ

担当学芸員インタビュー／小野寛子(練馬区立美術館学芸員)

練馬区独立70周年の今年は、企画力に富んだ大型の展覧会が目白押し。その第1弾として4月から「19世紀パリ時間旅行」展を開催します。

19世紀、パリの風景は大きく変化し、その様変わりした都市の景観は、印象派をはじめとする画家たちの格好の題材となりました。今回の展覧会では、絵画や衣装などの美術作品を通じて、パリの歴史を辿り、19世紀パリを紹介します。

都市と社会、そして美術を見つめるこれまでにない新たな展覧会となる「19世紀パリ時間旅行」について、担当学芸員が語ります。

——今回の展覧会は、19世紀パリをテーマとした展覧会となりますが、そもそもの企画はどういったところから生まれてきたのでしょうか。

小野 今回の展覧会は、私にとって2015年度に開催した「アルフレッド・シスレー展」の延長線上にある展覧会です。「シスレー展」では、美しい印象派の風景画を見て頂くだけでなく、印象派の作品を当時の社会背景や科学技術、日本における西洋近代絵画受容など様々な視点を交えてシスレー作品を捉えなおしてみようという試みをしました。つまり、美術を美術の世界だけで捉えるのではなく、取り巻く外界の変化や美術以外の学問から見つめてみたというわけです。「シスレー展」では、そうしたことをシスレーというひとりの画家を通じて考えたので、今度は19世紀のフランス・パリという都市や時代に目を向けることで、都市や社会の変化と美術の関係性がより見えてくるだろうと考えていました。

このように考えているときに、鹿島茂先生(明治大学教授・フランス文学者)が雑誌「芸術新潮」で「失われたパリの復元」という連載をしておられ、私も拝読していました。この連載は、鹿島先生にとって、19世紀パリという都市について考える集大成となる仕事であることを伺い、先生とお話するうちに展覧会をやりましようとなったわけです。

アンリ・ルソー(エッフェル塔とトロカデロ宮殿の眺望)1896-98年/油彩、カンヴァス/ポーラ美術館
画面右奥のトロカデロ宮殿は、1878年のパリ万博のメイン会場であり(1937年に取り壊し)、また三色旗たなびくエッフェル塔は、1889年のパリ万博の入場門として建設されました。当時の最先端建築技術の結晶とも言える万博の象徴がそびえるパリ風景を描くことは、ルソーが捉えた近代性の表現であるように思われます。



——「シスレー展」の開催は、大きな経験となったということですね。

小野 「シスレー展」で試みたような、印象派誕生の背景に、河川工学の発達があるということを指摘している研究者は以前からいらっしゃいましたが、そうした視点で印象派の展覧会が開催されたことはなかったと思います。そのため、これは私にとってひとつの挑戦ではありましたが、「シスレー展」を開催し、美術と河川工学という他領域の分野を合わせて展覧会が形になるという確信を得られた事は、大きな経験となりました。

「19世紀パリ時間旅行」展開催!!

Le Voyage dans le Temps du XIX^e siècle
A la recherche des rues perdues

——練馬区立美術館ではこれまで、『鹿島茂コレクション』と題した展覧会を3回開催していますが、今回の展覧会は、そのシリーズとは異なるものでしょうか。

小野 これまでの3つ展覧会は、タイトルにもあるように鹿島先生のコレクションを、テーマごとに紹介するというものでした。今回は、もちろん鹿島先生のコレクションも紹介しますが、19世紀パリという都市と時代をテーマに、様々な美術館やコレクターからお借りした作品とあわせて形作る展覧会となります。

——展覧会をつくっていく上で、鹿島先生との打ち合わせはどんな様子ですか。

小野 先生のご関心は、19世紀パリの“失われた街角”にあります。私の場合は、パリの“残っている部分”にも興味があります。それは、残っているからこそ過去と現在の比較ができるためです。鹿島先生がおっしゃるには、「僕のコレクションは失われたところで、小野さんが集めているところは後世にも残っているところだ」と。恐らく、鹿島先生はフランス文学者であるからこそ、ヴィクトル・ユゴーやオノレ・ド・バルザックの作品世界のパリ、また彼らが生きたもう私たちが行くことのできない“古パリへの憧憬”のようなものをお持ちなのではないかと思っています。

展覧会では、現在も残っている場所の変化も紹介することで、現代とつながった部分から、お客様には19世紀パリの世界に入りこんでもらいたいと思っています。

——今回は、絵画や衣装を見て楽しむのももちろんですが、それ以上に奥が深いものになりそうですね。

小野 美術館で絵を見るということに対して、癒しを求める方もいらっしゃる、新しい知識を得たいと思っている方もいらっしゃると思います。絵画の見方は、人それぞれなので、何が正しくて何がダメといったことはないと思いますが、今回の展覧会は、知らなかったことを知ってほしいという思いがあるので、出来れば、「“頭”で見てほしい」展覧会だと思っています。

ただ、今回は出品作品も盛りだくさんで多岐にわたっているのですが、この雰囲気から19世紀という時代が押し寄せるような感じを肌で感じて頂くのも、純粹に楽しいのではないかと思います。

練馬区立美術館ホームページにて、今回のインタビューの全編公開!!
「19世紀パリ時間旅行」展については、裏面の「練馬区立美術館」をご覧ください。



モーリス・ユトリロ(モンマルトルの
キュスティエヌ通り)1938年/油彩、
カンヴァス/ 松岡美術館



「19世紀パリ時間旅行」展チラシ

《展覧会関連特別公演—朗読と音楽の公演》

若村麻由美の劇世界

『ワルツ〜カミーユ・クロードルに捧ぐ〜』

出演：若村麻由美(朗読)／坂東祐子(パフォーマンス)／
大杉光恵(ピアノ)／安藤梨乃(ヴァイオリン)

音楽：坂田晃一(チェロ)

日時：4月29日(土・祝)・30日(日) 18:30 開演(18:10 開場)

会場：練馬区立美術館ロビー

※チケット発売等詳しくは、練馬区立美術館ホームページをご覧ください。



日程 毎月第3水曜日 時間 12:15～12:45 場所 練馬区役所1階アトリウム ※都合により中止になる場合があります

アトリウムミニステージ | 無料

日程 4月8日(土) 時間 12:00～13:00 場所 石神井松の風文化公園管理棟2階 多目的室

まちなかコンサート vol.17 in 石神井松の風文化公園 | 無料

日程 4月17日(月) 時間 ①14:00②18:30 場所 練馬文化センター 大ホール

三山ひろしコンサート | 全席指定:S席6,500円、A席5,000円、B席3,500円

日程 4月19日(水) 時間 19:00 場所 練馬文化センター小ホール

万作・萬斎 狂言の会～鬼瓦・金岡・六人僧～ | 完売御礼

日程 4月29日(土・祝) 場所 平成つつじ公園

第3回練馬つつじフェスタ | ※ねりパフォ2017選抜チームがステージに出演

日時 ①5月17日(水)18:00 ②25日(木)19:00 場所 練馬文化センター小ホール

練馬文化センター&サントリーホール オペラ・アカデミー
ジュゼッペ・サッパティエーニ
①声楽公開レッスン ②声楽アンサンブル・コンサート
①聴講チケット全席自由:1,000円
②全席指定:2,500円

日程 5月20日(土) 時間 15:00 場所 練馬文化センター小ホール

練馬区立美術館「19世紀パリ時間旅行」展 開催記念
パリと音楽家たち♡小林愛実 ピアノ・リサイタル | 全席指定:2,500円※残席わずか

日程 5月21日(日) 時間 12:00～12:45 場所 石神井松の風文化公園管理棟2階 多目的室

まちなかコンサート vol.18 in 石神井松の風文化公園 | 無料

日程 5月26日(金) 時間 18:30 場所 練馬文化センター小ホール

第138回練馬区民寄席～さん喬・権太楼～ | 全席指定:3,000円

日程 ①5月27日(土) ②28日(日) 時間 未定 場所 練馬文化センター小ホール

第32回 練馬区新人演奏会出演者選考オーディション
一次審査 ①金管楽器部門 ②ピアノ部門 | 無料

日時 6月3日(土) ①13:00 ②15:25/4日(日) ③13:00 ④14:35 場所 大泉学園ゆめりあホール

練馬区立美術館「19世紀パリ時間旅行」展 開催記念
フランス映画傑作選
①巴里の屋根の下 ②獣人 ③スリ ④フレンチ・カンカン<復元長尺版> | 全席自由:1,200円(1日券)※2本立・入替なし※6/3「巴里の屋根の下」上映後、鹿島茂氏(明治大学教授、フランス文学者)トーク有

日程 6月11日(日) 時間 14:00 場所 練馬文化センター 大ホール

練馬交響楽団第65回定期演奏会 | 全席自由:1,000円

日程 6月18日(日) 時間 17:00 場所 練馬文化センター大ホール

HAPA 2017年来日ツアー | 全席指定:S席6,500円、A席5,000円

日程 ①6月24日(土) ②6月25日(日) 時間 未定 場所 練馬文化センター小ホール

第32回 練馬区新人演奏会出演者選考オーディション
二次審査 ①金管楽器部門 ②ピアノ部門 | 無料

チケットを購入する方法

電話

☎ 03-3948-9000
10:00～17:00/練馬文化センター予約受付専用
※チケットは、窓口や郵便振込でお引換えができます。

窓口

●練馬文化センター1階チケットカウンター
●大泉学園ゆめりあホール5階事務室受付
10:00～20:00/※予約受付開始日の翌日午前10時から、窓口で購入およびお引換えができます。

インターネット <http://www.neribun.or.jp>

事前に利用登録が必要です。
①協会ホームページの「インターネットチケット販売」ボタンをクリック。
②「利用登録」から必要事項を入力してください。
●予約方法 登録したメールアドレス、パスワードで「ログイン」するとチケット予約が行えます。
※チケットは、セブン・イレブンや郵送などで受取れます。



4月

練馬区独立70周年記念事業 特別展 映画に魅せられた文豪・文士たち —知られざる珠玉のシネマガイド—

会期 4月22日(土)～6月11日(日)

本展では、川端康成、三島由紀夫など、昭和を代表する「文豪・文士」による映画評、憧れの女優などについて書かれた記述など膨大な原稿の中から約100本を厳選し、寄稿された雑誌、公開当時の映画ポスター、プログラムなどと共に紹介します。

時間 9:00～18:00
休館日 月曜日
観覧料 一般300円、その他各種割引あり

ココがおすすめ!

文豪・文士たちの独自の感性で綴る映画評は、新しい映画の見方を教えてください!



「ローマの休日」



「駅馬車」

5月

講演会「小説と映画の蜜月時代」

[講師] 金井美恵子(作家)

●5月13日(土)14:00～15:30 申込締切:5月6日(土)必着

講演会「出版人のひとりごと -映画と私-」

[講師] 早川浩(株式会社早川書房 代表取締役社長)

●5月27日(土)13:30～15:00 申込締切:5月16日(火)必着

いずれも、参加費無料 / 石神井公園ふるさと文化館 1階 多目的会議室 / 定員100名(抽選) / 申込方法:往復はがきまたはメールに①講演会名②住所③氏名(1名まで)、ふりがな④電話番号を記入の上、下記へお申込ください。

●申込先 〒177-0041練馬区石神井町5-12-16

石神井公園ふるさと文化館 event-furusato@neribun.or.jp

※DVDによる映画上映会開催。詳細はホームページ等をご覧ください。

6月

練馬区独立70周年記念事業 企画展 独立70周年—練馬区誕生への軌跡

会期 6月24日(土)～8月15日(火)

昭和22(1947)年8月1日に、板橋区から分離独立して誕生した練馬区域のあゆみを掘り下げます。

時間 9:00～18:00
休館日 月曜日*
観覧料 無料

7月

ふるさと文化館 分室

分室企画展

生きて、食べて、書いた。 —作家と食

会期 4月15日(土)～7月8日(土)

練馬区ゆかりの作家のうち、「食」「料理」の分野でも著名な作家があります。

「檀流クッキング」で毎夜客人をもてなした檀一雄、小料理屋「火の車」を出し、詩的なネーミングの料理を創作した草野心平、故郷である山形・庄内地方の郷土食をこよなく愛し、作品にも登場させた藤沢周平など、作家と「食」との向き合い方は、その人生を投影し、魅力にあふれた一面です。本展では、そうした作家たちの思いがけない側面を「食」を通じてご紹介します。

時間 9:00～18:00

休室日 月曜日

観覧料 無料

ココがおすすめ!

料理のしかた、料理の名づけ方、そんなところに作家の本質が!



草野心平の居酒屋「火の車」再現写真
(写真提供:いわき市立草野心平記念文学館)

講演会「檀流クッキングについて」

[講師] 檀太郎(エッセイスト/檀一雄長男)

●5月13日(土)14:00～15:30 / 参加費無料 / 石神井松の風文化公園管理棟 2階 多目的室 / 定員100名(抽選)

／対象 中学生以上 / 申込方法:往復はがきまたはメールによる事前申込①イベント名②住所③氏名(2名まで)、ふりがな④電話番号 / 締切:4月18日(火)必着

「思い出の料理」の エッセイ・絵・写真募集

思い出の料理について、下記の方法のいずれかで作品をお寄せください。原則として、すべて会期中、展示室に展示します。

A: はがきエッセイ(はがき1枚に書いてお送りください)

B: 絵はがき(思い出の料理の絵をはがき1枚に描いてお送りください)

C: 写真(思い出の料理写真1点をメールでお送りください)

●申込方法:①住所②氏名③ペンネーム④電話番号(ペンネーム以外は非公開とします) / 締切:6月30日(金)必着

※はがきは会期終了後ご返送します。

●申込先

〒177-0045 練馬区石神井台1-33-44 石神井松の風文化公園
管理棟内石神井公園ふるさと文化館分室
event-bunshitsu@neribun.or.jp

練馬区独立70周年記念展

19世紀パリ時間旅行—失われた街を求めて—

4月

会期 4月16日(日)～6月4日(日)

フランス文学者の鹿島茂氏による「失われたパリの復元」(『芸術新潮』連載)をもとに、「19世紀の首都」パリの全体像に迫る展覧会を開催します。絵画や衣装など多様な美術作品を通して、19世紀パリを紹介します。19世紀の首都—パリという都市と社会、そして美術を見つめるタイム・トラベルに出発です！

時間 10:00～18:00(入館は17:30まで)

休館日 月曜日

観覧料 一般800円、高大生および65～74歳600円、中学生以下および75歳以上無料、その他各種割引あり ※要年齢等確認証

ココがおすすめ！

油彩画や版画、地図、衣装、ポスターなど様々な美術作品や資料をたっぷり紹介します。19世紀パリのエスプリをお楽しみください！



ビエール＝オーギュスト・ルノワール(森の散歩道(ル・クール夫人とその子供たち))1870年/油彩、カンヴァス/公益財団法人吉野石膏美術振興財団(山形美術館に寄託)

共催:毎日新聞社 後援:在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本 協力:新潮社、公益財団法人 京都服飾文化研究財団

5月

特別講演会

- ①鹿島茂(明治大学教授、フランス文学者) 5月13日(土)15:00～
 ②喜多崎親(成城大学教授[西洋美術史]) 5月14日(日)15:00～
 ③深井晃子(京都服飾文化研究財団理事、名誉キュレーター)5月20日(土)15:00～

●①～③[共通]定員:70名/要事前申込(抽選)、観覧券(当日以外も可)が必要 ※詳しくはホームページ参照



鹿島茂によるギャラリートーク

[講師]鹿島茂(明治大学教授、フランス文学者)

●4月21日(金)15:00～/事前申込不要、当日の観覧券が必要



ポール・シニャック(ボン・ヌフ)1927年/水彩、紙/茨城県近代美術館

漆の画家 太齋春夫展(仮)

会期 6月9日(金)～7月14日(金)

太齋春夫(1907-1943)は、新たな漆の技法を開発して美術の領域に持ち込み、漆絵を数多く遺しました。昭和戦中に若くして亡くなったため、知られることのなかった特異な画家の足跡を紹介します。

時間 10:00～18:00(入館は17:30まで)

休館日 月曜日

観覧料 一般300円、高大生および65～74歳200円
 中学生以下および75歳以上無料、その他各種割引あり
 ※要年齢等確認証

助成:公益財団法人朝日新聞文化財団

ココがおすすめ！

漆を塗ったアルマイトによるモザイクなど、今は失われた技法による珍しい作品が並びます。漆の可能性をとくとご覧あれ。

《東郷坊》1942年/
 漆絵、カンヴァス



《貴婦人像》6枚組の内1枚、制作年不詳/漆モザイク、アルマイト

7月

潜入!

来て、見て、参加して、楽しい!

ねりぶん体験イベント

練馬区文化振興協会(ねりぶん)では、子どもから大人まで一緒に楽しめるさまざまなイベントを、1年を通して開催しています。

「参加したことがない!」

「どんな内容のイベントなの?」という方のためにレポーターが潜入取材しちやいました!

若者が主役の文化祭 親子参加のイベントも開催

ねりま若者文化祭ライブパフォーマンス2017、愛称「ねりパフォ」が練馬文化センター大ホールで開催されました。第4回目を迎える今年のテーマは「Challenge自分の。カラ、をぶち壊せ!!」。今年は軽音楽部門12組ダンス部門15組、パフォーマンス部門3組計30組約350名が選ばれ、熱いパフォーマンスを繰り広げました。この催しは、その名のとおり、出演者は小学生から30歳以下、さらに運営委員会会長の堀内拓明さんも大学生、ボランティアスタッフも10代〜20代の若者中心で運営されています。軽音楽部門の最後には、部門出演者たちが一緒に「ティ・ドリーム・ピリ

潜入1

ねりま若者文化祭ライブパフォーマンス ねりパフォ2017

《練馬文化センター大ホール》平成29(2017)年2月5日(日)



熱いパフォーマンスがたくさん!

みんながんばっね〜!

バー」を大合唱し、堀内さんはドラムに初挑戦。会長自らチャレンジしていく姿勢に驚かされました。さらに、今年は「ホールの外でも1日中楽しんで欲しい」との思いから、ロビーでは応援グッズの工作コーナーが設けられるなど、ホール外でも様々なイベントが行われまわした。親子で応援グッズの「うちわ」を作るなど、楽しげな笑顔が会場にあふれていました。

ねり丸も来たよ!



興味を持ってもらえると嬉しいです!



潜入2

収蔵品企画展「しょうゆ・みそ・さけ」 学芸員による展示解説会

《石神井公園ふるさと文化館》
平成29(2017)年2月12日(日)・26日(日)・3月15日(水)

には、同館の学芸員・相川詩織さんによる約30分間の展示解説会が行われました。「ただ展示するだけでなく、製造道具がどのようなように使われていたかをイラストで表現したり、現在区内で活躍されている醸造所を取材し、勉強してきました。皆様により興味をもって楽しんでいただけるような解説を心がけています」と相川さん。約20名ほどお客様も集まり、丁寧な解説に熱心に耳を傾けている様子が見られました。お客様からは「麴についてとても興味があったので、醤油や酒造りを通して詳しく知ることができました」「展示の工夫に加え、わかりやすい解説でした」という声が聞かれました。





練馬区立 石神井公園

ふるさと文化館 分室

NERIMA SHANJIKOEN FURUSATO MUSEUM

☎03-5372-2572

[住所] 練馬区石神井台1-33-44 石神井松の風文化公園管理棟内
(西武池袋線「石神井公園」駅下車、徒歩15分)

[FAX] 050-3352-2983

[開室時間] 9:00~18:00

[休室日] 月曜(祝休日の場合は翌平日)、年末年始、臨時休室日

[料金] 観覧無料



練馬文化センター

NERIMA CULTURE CENTER

☎03-3993-3311

[住所] 練馬区練馬1-17-37
(西武池袋線・西武有楽町線・都営大江戸線
「練馬」駅下車、徒歩1分)

[FAX] 03-3991-9666

[休館日] 年末年始
(保守点検日は、一部施設のご利用ができません)



大泉学園

ゆめりあホール

OZUMIYAHALL YUMERIA HALL

☎03-5947-2351

[住所] 練馬区東大泉1-29-1
(西武池袋線「大泉学園」駅
下車、徒歩1分)

[FAX] 03-5905-2021

[休館日] 年末年始
(保守点検日は、一部施設の
ご利用ができません)



練馬区立 石神井公園

ふるさと文化館

NERIMA SHANJIKOEN FURUSATO MUSEUM

☎03-3996-4060

[住所] 練馬区石神井町5-12-16
(西武池袋線「石神井公園」駅下車、
徒歩15分)

[FAX] 03-3996-4061

[開館時間] 9:00~18:00
(会議室の利用は、21:30まで)

[休館日] 月曜(祝休日の場合は翌平日)、年
末年始、臨時休館日

[料金] 常設展示は観覧無料(特別展は有料)



練馬区立美術館

NERIMA ART MUSEUM

☎03-3577-1821

[住所] 練馬区貫井1-36-16
(西武池袋線「中村橋」駅
下車、徒歩3分)

[開館時間] 10:00~18:00
(入館は17:30まで)

[休館日] 月曜(祝休日の場合は翌
平日)、年末年始、展示替えなど
による準備期間中

[料金] 展覧会により異なる



公益財団法人 練馬区文化振興協会 友の会 会員募集中!

年会費:2,500円
期間:入会月から1年間



さまざまなジャンルの施設がお得に楽しめる特典がいっぱい!

~練馬文化センター、大泉学園ゆめりあホール、石神井公園ふるさと文化館、練馬区立美術館~

平成29年4月、練馬文化センター友の会が「練馬区文化振興協会友の会」に生まれ変わります。

申込方法など詳しくは協会HPをご覧ください。 <http://www.neribun.or.jp/>

特典1

各施設の情報誌を
毎月ご自宅に郵送

特典2

公演チケットが
1割引(一部公演を除く)

練馬文化センター
大泉学園
ゆめりあホール

特典3

一般発売前に公演
チケットを優先予約
(一部公演を除く)

練馬文化センター

特典4

展覧会にご招待
(同伴者1名まで可)

石神井公園
ふるさと文化館
練馬区立美術館

特典5

会員限定イベント
のご案内

石神井公園
ふるさと文化館
練馬区立美術館

発行
公益財団法人
練馬区文化振興協会

東京都練馬区練馬1-17-37

☎03-3993-3311

[FAX] 03-3991-9666

<http://www.neribun.or.jp>

発行日/平成29年3月24日